

令和元年度 連続特別講義 後半 防災と水環境 (II)

我々は、河川流域を基本単位として循環する水を利用しながら社会経済活動を拡大してきました。高度成長期には激しい水質汚濁、多くの水害と水不足を経験しましたが、高度な技術開発を実用化させ、これらの問題に対処してきました。持続可能な開発目標の達成のため、日本の技術貢献も期待されています。しかし、近年、豪雨による大水害が毎年のように発生し、新たな化学物質による水環境汚染も懸念されています。なぜ新たな水問題が発生しているのでしょうか。また、これらの水問題は新技術で解決できるのでしょうか。信州大学水環境・土木工学科が実務者を招いて行う実務的教育の一部を開放して、皆さんと一緒に考えたいと思います。

主催：信州大学工学部水環境・土木工学科
後援：公益財団法人西原育英文化事業団
CPD：土木学会継続教育(CPD)認定

受講証明書印刷持参いただければ当日署名押印します。



参加費無料・参加登録不要

場所
信州大学工学(長野)キャンパス



開催教室など変更する場合、下記ウェブサイトでお知らせします。必ず事前に確認下さい。



<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/department/civil/>

問合せ：水環境・土木工学科
吉谷純一
(yoshitani@shinshu-u.ac.jp)

第5回

1月9日(木)
14:40-16:10
山下洋正

土木研究所上席研究員



下水道を活用した水系水質
リスク対策の取り組み
教室：C3-102教室

人間活動の負荷の多くが、下水道を経由して水環境に到達して影響を与えています。下水道の機能を活用して、効率的に水系水質リスク対策に取り組む方策について、実務面も踏まえつつ説明します。

第7回

3月4日(水)
14:40-16:00
松本 洋行

環境部次長兼水資源グループ長
SDGs目標6.1安全な飲料水
へのアクセス達成の課題
教室：E2-2階セミナースペース
リアルタイム・ウェビナー

<https://zoom.us/j/195633139>

持続可能な開発目標(SDGs)では、2030年までに安全で入手可能な価格の飲料水に対する全ての人々の公平なアクセスを達成することを目標としています。この目標の達成に向けた課題と日本の国際協力の取組を紹介いたします。

第6回

2月14日(金)
10:00-12:00
吉谷純一

信州大学工学部教授



令和元年台風19号千曲川
災害 続報
教室：E2-2階セミナースペース

土木学会による千曲川災害調査の中間成果、内閣府避難ワーキングでの議論内容を含め、今次災害の特徴と今後の治水の課題を、他河川と比較しながら一般向けに解説します。

第8回

3月23日(月)4月3日(金)
14:00-16:00
M.L. Williams

カリフォルニア大学デービス校卓越教授
構造物設計のための可能
最大降雨・流量の推定
教室：E2-2階セミナースペース未定

米国で用いられる起こりうる最大規模の降雨量・流量の概念を解説し、構造物設計のためにこれらを推定する現行及び新技術を英語で紹介いたします。適宜、日本語での解説を加えます。

延期

延期